



すべての人の 「生きる」に向き合う

私たちの使命

日本調剤グループの社会における不変の存在意義

提供価値が大きく広がっている私たちの、社会における不変の存在意義とは何か。グループ全体の共通の価値は、すべての人の「生きる」に関わることだと私たちは考えました。多様な「生きる」に深く長く向き合い、たくさんの方々が私たちのことを人生に不可欠だと思ってくださっている。その存在意義に強い誇りを持ちたいという想いを込めたのが、この使命です。

あらゆる人の健康に資すること。これは創業から続く大切な想いです。私たちはこれまで、社会のすみずみまで医療が行きわたるように、さまざまな課題に挑戦し続けてきました。これからもこの志を胸に、生活の一番近くで医療を担う者として、お一人おひとりの「生きる」に真摯に向き合い、生涯にわたってあなたを支え続けます。

Our Mission

日本調剤グループの社会における不変の存在意義



「患者さま」に
向き合う



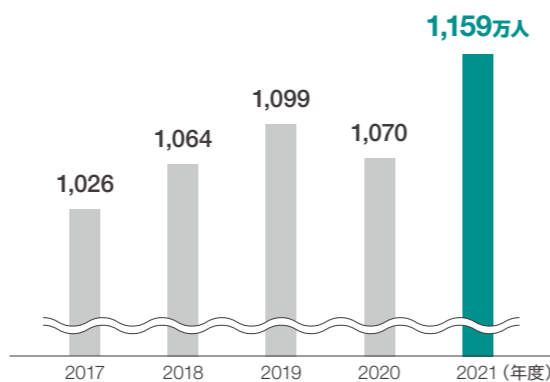
「超高齢社会」に
向き合う

1,159万人

この数字は、1年間で私たちの調剤薬局をご利用いただいた患者さま[※]の人数です。これだけ多くの患者さまの健康といのちに関わらせていただいていることにしっかりと向き合い、患者さまに寄り添い続けていきます。

※延べ患者数

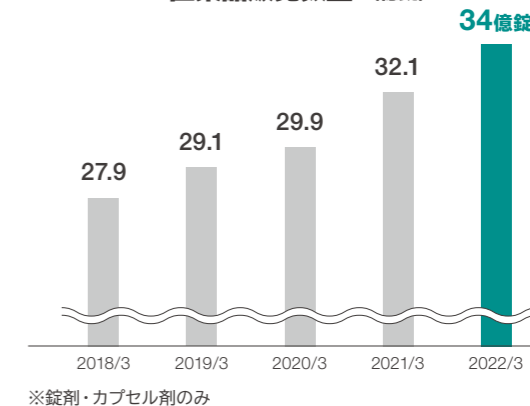
日本調剤の薬局をご利用いただいた患者さま(万人)



34億錠

この数字は、1年間で当社グループの医薬品製造販売事業を通じて医療機関にお届けしたお薬の数です。高品質で安価なジェネリック医薬品を供給することによって、患者さまの薬物治療に向き合うだけでなく、患者さまの経済的負担や医療財政の負担を軽くしていくことにも貢献します。

医薬品製造販売事業における
医薬品販売数量[※](億錠)



※錠剤・カプセル剤のみ

Our Mission

日本調剤グループの社会における不変の存在意義



「医療現場」に
向き合う



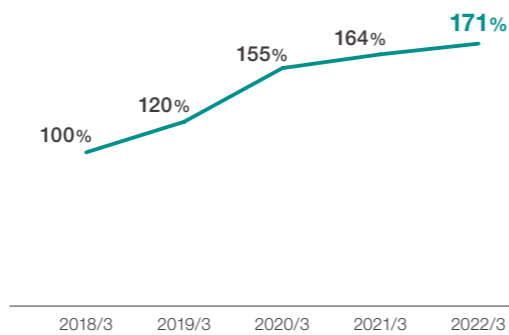
「ヘルスケアの未来」に
向き合う

171%

 (2018年3月期比)

この数字は、当社グループの医療従事者派遣・紹介事業において、医療従事者の紹介をさせていただいたお取引先数の伸び率です。わが国では、団塊の世代が75歳以上（後期高齢者）となるいわゆる2025年問題を抱えています。医療従事者の不足が予想される中で、薬剤師や看護師がその役割を大きく広げることも期待されています。この社会課題としっかりと向き合い、日本の医療と健康を人材の派遣・紹介の側面からも支えていきます。

医療従事者派遣・紹介事業における
医療従事者※紹介先数 (2018年3月期比)



※薬剤師、医師、看護師、登録販売者

Our Vision (グループの目指す姿 2030)

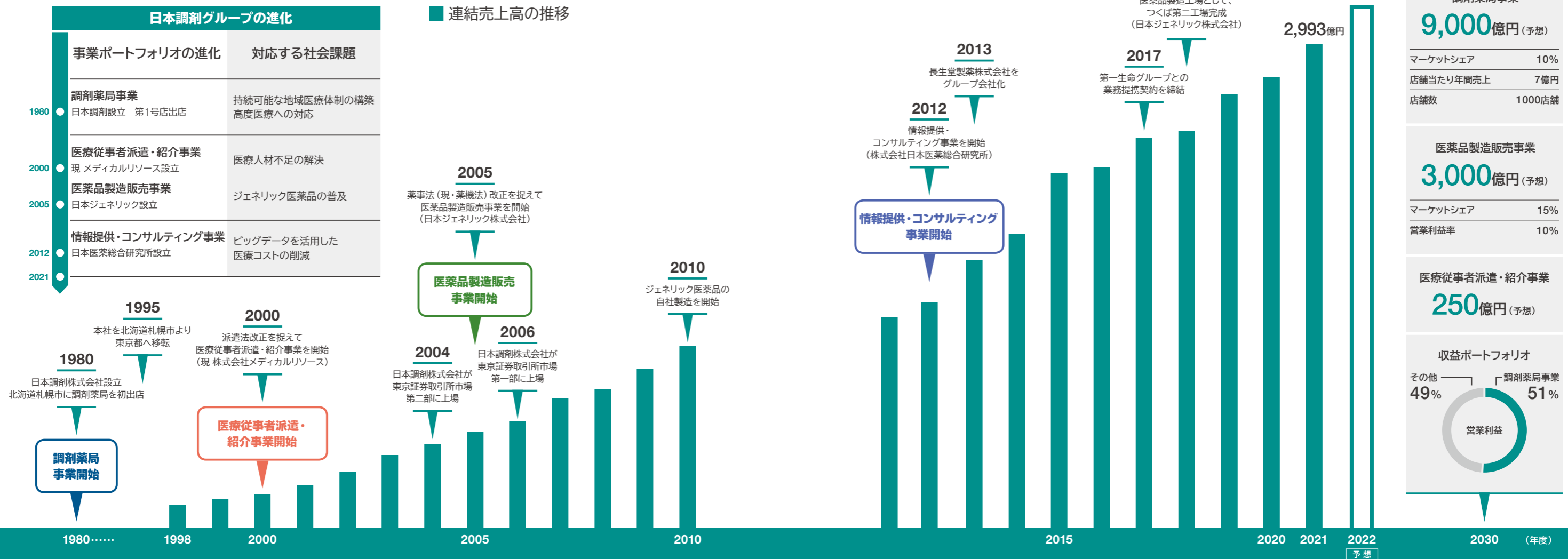
誰もが一番に相談したくなるヘルスケアグループへ

すべての人の「生きる」に向き合う。その壮大な使命は、私たちだけの力では果たせません。患者さま、医療関係者や研究機関、企業、行政など、あらゆる方々の声にまっすぐ向き合い、共創していくことが不可欠です。私たちは2030年に向けて、時代の先を見据えた医療のプロフェッショナル集団として真っ先に「相談してみよう」と思われるような、誰からも信頼されるヘルスケアグループを目指します。

ヘルスケアに特化した 事業ポートフォリオを武器に、 日本の医療課題解決に貢献する ヘルスケアグループへ。

日本調剤グループの進化	
事業ポートフォリオの進化	対応する社会課題
1980 ● 日本調剤設立 第1号店出店	持続可能な地域医療体制の構築 高度医療への対応
2000 ● 医療従事者派遣・紹介事業 ● 現 メディカルリソース設立	医療人材不足の解決
2005 ● 医薬品製造販売事業 ● 日本ジェネリック設立	ジェネリック医薬品の普及
2012 ● 情報提供・コンサルティング事業 ● 日本医薬総合研究所設立	ビッグデータを活用した 医療コストの削減
2021 ●	

■ 連結売上高の推移



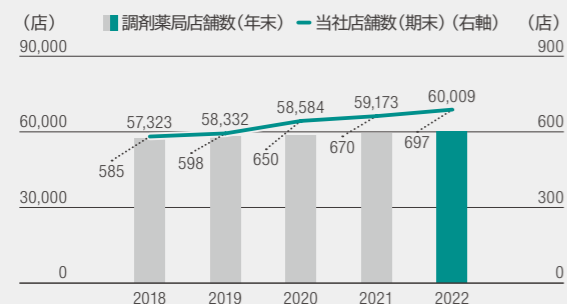
Introduction

Top Message

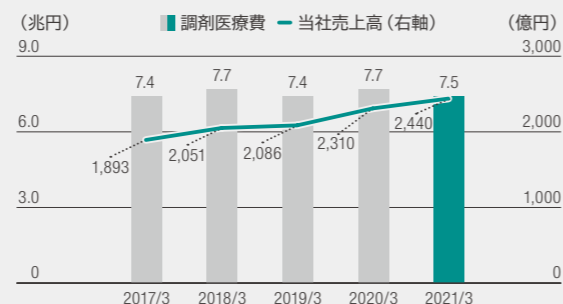
How We Create Value

Sustainability

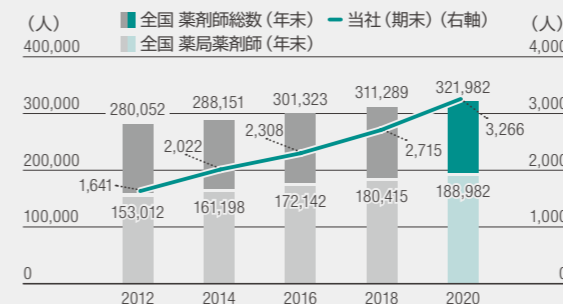
調剤薬局店舗数



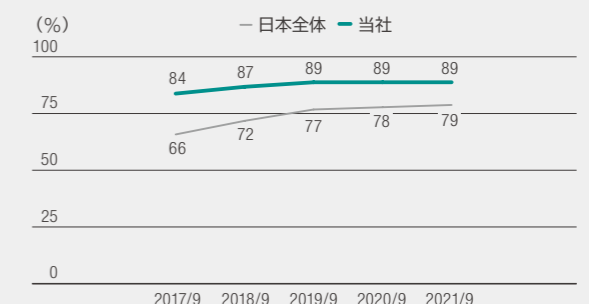
調剤医療費



常勤薬剤師数



ジェネリック医薬品使用率(数量ベース)



Corporate Governance

日本調剤グループニュース

(2021年4月～2022年8月)



2021年5月

子育てサポート企業として「くるみん」認定を取得

当社は従業員の約6割が薬剤師で、そのうち約7割を女性が占めています。企業の成長には女性が長期的に活躍できる仕組みの構築が不可欠であり、従業員が子育てと仕事を両立できる働きやすい環境づくりを進めてまいりました。その結果、子育てサポートについて高い水準で取り組んでいる企業として、2021年5月31日付で厚生労働大臣より「くるみん」認定を取得しました。



2021年8月

明治薬科大学に教育機関向け初となる「FINDAT」を提供開始

「FINDAT」は医療従事者のための医薬品情報WEBプラットフォームです。2021年度から教育機関への普及に向けた活動に注力する中、同大学で科学的根拠に基づいて薬物を選択する能力を養成するため、薬物治療・医薬品情報演習を担当する教員に「FINDAT」を活用していただくことになりました。

※2021年8月2日現在



2021年10月

マイナンバーカードによる「オンライン資格確認」の本格運用開始

オンライン資格確認は、医療機関や薬局で患者さまが加入している医療保険の資格を、マイナンバーカードまたは保険証を利用しオンライン確認できるもので、当社では国によるプレ運用開始直後より本取り組みに協力してきました。2021年10月からの本格運用開始に合わせ、同年3月末までに開局した663店舗での運用を開始しました。



2021年11月

厚生労働省がすすめる「医療分野における適正な有料職業紹介事業者」に認定

メディカルリソースは、「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者の認定制度」にて、「医療分野における適正事業者」として認定されました。当該制度は、人材不足が特に顕著な医療・介護・保育分野の職業紹介事業における、早期離職や紹介手数料の不適切な受領などの諸問題に対応するため、業界団体・有識者等が取りまとめた「適正な有料職業紹介事業者の基準」をもとに、その基準を満たす有料職業紹介事業者を「適正事業者」として認定することとしたものです。各分野における人材確保およびマッチングの質向上に貢献することを目的としており、求人者があらかじめサービスの内容・品質・費用等についての概要を知った上で、適正な事業者を選択できるようにする制度です。

2022年3月

経済産業省が定める「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定

当社グループは、「社員が安全に、健康な状態でいきいきと働くことができる職場づくり」を重要な経営のテーマと考え、2021年9月に健康経営宣言を行い、代表取締役社長を最高健康経営責任者とする健康経営推進体制のもと健康経営の強化を推進してまいりました。このたびの認定取得を機に、またサステナビリティの観点からも健康経営への取り組みをさらに強化し、ヘルスケア業界のトップランナーとして、全社一体感のある意欲的な活動を推進していきます。



2022年4月

就職希望企業調査ランキングにおいて「医療・福祉・調剤薬局」「化学・薬学系」部門で第1位、ほか2項目で業界内トップに

2023年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象に、就職情報大手のマイナビと日本経済新聞社が実施した、就職希望企業調査「マイナビ・日経 2023年卒大学生就職企業人気ランキング」において、「医療・福祉・調剤薬局」「化学・薬学系」カテゴリでそれぞれ第1位、ほか2項目で調剤薬局・ドラッグストア業界内トップの得票をいただきました。

- 今回調査における調剤薬局・ドラッグストア業界内トップ得票カテゴリ
- 「医療・福祉・調剤薬局」：第1位(昨年度：第2位)
 - 「化学・薬学系」：第1位(昨年度：第1位)
 - 「理系総合」：第20位(昨年度：第24位)
 - 「理系女子」：第7位(昨年度：第8位)



日本調剤 島大薬局

CONTENTS

Introduction

- 01 Our Mission
- 07 長期の業績
- 09 グループニュース
- 11 目次

Top Message

- 13 トップメッセージ
- 19 財務戦略

How We Create Value

- 21 価値創造のプロセス
- 23 ステークホルダー・エンゲージメント
- 25 At a glance
- 27 長期ビジョンと戦略の全体像
- 29 リスクと機会
- 31 特集：DX戦略
事業概況
- 33 調剤薬局事業
- 41 情報提供・コンサルティング事業
- 43 医薬品製造販売事業
- 49 医療従事者派遣・紹介事業

Sustainability

- 55 サステナビリティ
- 57 Environment
- 59 Human
- 62 Social

Corporate Governance

- 63 社外取締役／監査等委員メッセージ
- 65 役員一覧
- 67 コーポレート・ガバナンス

Data

- 71 11年データ（財務・非財務サマリー）
- 77 会社情報

COVER STORY

日本調剤の新グループ理念「すべての人の『生きる』に向き合う」とともに当社グループの4つの事業が、患者さま、医療関係者、研究機関、企業、行政など、あらゆる方々の声にまっすぐ向き合い、共創していく姿をイメージしました。

私たちは2030年に向けて、時代の先を見据えた医療のプロフェッショナル集団として真っ先に「相談してみよう」と思われるような、誰からも信頼されるヘルスケアグループを目指します。

将来見通しに関する注意事項

「統合報告書2022」は、日本調剤グループの計画、戦略、業績などに関する将来の見通しを含んでいます。これらの記述は現在入手可能な情報から得られた経営陣の判断に基づいています。実際の業績などは、さまざまなリスクや不確実性の影響を受けるものであり、これらの見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

将来の見通しに影響を与える要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、関連する法令などの改定状況、診療報酬改定状況、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。



編集方針

日本調剤グループの経営方針や事業戦略に加え、中長期の企業価値創造について株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに理解していただくため、財務情報および非財務情報を網羅した報告を行っております。報告対象期間は2022年3月期（2021年4月～2022年3月）です。

ただし、必要に応じて2023年3月期についても言及しております。